

平成 28 年度事業報告

○新 5 ヶ年行動計画 2016-2020 と北海道リハビリテーション専門職協会

平成 28 年度からは、新 5 ヶ年行動計画 2016-2020 を立案し、従来からの目標であった「人を育て遺してゆく」、「作業療法士不在地域ゼロ作戦」に変わりはないが、平成 28 年 3 月 1 日に理学療法士会、言語聴覚士会とともに一般社団法人北海道リハビリテーション専門職協会を設立し、北海道の地域医療介護総合確保基金の運用も含めて当士会との役割分担を行い、市町村アドバイザーの養成など一定の成果を上げた。

5 ヶ年行動計画では、従来の 4 本柱であった、組織強化、質の向上、職域拡大、社会貢献を、日本作業療法士協会の 5 ヶ年行動計画である、①質の向上と職域の明確化、②作業療法士技術の向上、③作業療法の有効活用の促進、④作業療法の普及と振興、⑤内外関係団体との提携交流、⑥災害対策、⑦法人の管理や運営の 7 大項目に改め、協会の定型活動 86 項目のうち、道士会に重要と思われる 66 項目を選定し、A：優先順位が高い、B：ふつう、C：既に取り掛かっている、又は 5 ヶ年計画後半でよい、の 3 つに分類し担当部署を明らかにした。

○平成 28 年度の重点課題として以下のことを掲げてきた。

A) 会員データベース管理システムへの完全移行

執行部の責任も大きいとは思いますが、協力を得られていない会員が 3 割から 2 割に改善しているものの、会員の協力なしには達成しえないため引き続きの課題である。

また、オンラインでのカード決済システムの導入を実現できた。

B) 制度対策委員会の立ち上げと委員会の部への移行

従来の保険部や福利部などの事業に加え、地域包括ケアシステムの確立や就労支援など刻々と変化している制度対策、特に、5 ヶ年行動計画の③作業療法の有効活用の促進を分掌し、併せて業務が雑多となっている地域部、事業部、支部などとの分掌分担を再整理した制度対策委員会を立ち上げた。

C) 認知症対策委員会による事業推進。

日本作業療法士協会と行動を共にし、身障領域、精神領域、高齢領域、地域、教育、行政、関連団体などと連携して事業を推進した。

D) 協会のパイロット事業の有効活用を含めた地域作業療法の推進

パイロット事業である「地域住民とともに地域支援事業を行う『推進リーダー』の育成と組織化を図る」事業を今金町や旭川市で行い、成果を上げた。

作業療法士不在の遠隔地域に就労した新規卒業者もモデル事業として支援した。

総じて、時代の変遷に遅れることなく、課題の達成に向けて前進した一年であった。

【事務局】

[総務部]

1. 会議運営

- ・ 定期総会：平成 28 年 6 月 4 日開催
- ・ 支部部局連絡会議：年 2 回開催
 - 第 1 回 6 月 4 日、第 2 回 1 月 14 日
- ・ 定例理事会：年 3 回
 - 第 1 回 6 月 4 日、第 2 回 10 月 22 日、第 3 回 3 月 4 日
- ・ 臨時理事会：年 3 回

第1回 4月23日、第2回 8月20日、第3回 1月13日

・常任理事会：年3回開催

第1回 7月9日、第2回 12月10日、第3回 2月11日

・三役会：年6回開催

第1回 4月18日、第2回 6月1日、第3回 10月17日、第4回 10月22日、

第5回 1月12日、第6回 2月28日

2. 会員基本データの保守・管理

3. 定期刊行物の発送及び保管

・士会ニュース（隔月発行）の発送：年6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）

4. 公文書接受・発行：渉外関係、道士会部局員等委嘱状

5. 会計事務所との打合せ

6. 慶弔：祝電22件：養成校入学式11件、養成校卒業式10件、他1件

[財務部]

1. 平成28年度予算執行の管理

2. 平成28年度中間決算

3. 平成28年度収支決算書の作成

4. 平成29年度予算案の作成

5. 会計マニュアルの一部改正

【学術部】

[編集委員会]

1. 平成28年度 機関誌[北海道作業療法]の編集・発行関連

・北海道作業療法 第33巻 第2～4号、第34巻 第1号発行

2. 投稿論文促進に向けた取組み

3. 雑誌の電子化についての検討

4. 北海道作業療法の著作権の範囲の変更

・変更前) 査読前・後の論文の著作権は北海道作業療法に帰属 ⇒ 変更後) 査読後論文のみを対象とする。

[学術課]

1. 学術研究助成金について

・平成27年度学術研究助成金報告書の公開（編集委員会と協業）

・平成28年度学術研究助成金の助成

・平成29年度学術研究助成金の募集・選考審査

2. 学術的基盤強化に向けた方法論の検討と運用

- ・倫理的配慮の基準の継続検討
3. MTDLP 研修会の資料のデータベース化に向けた準備
 - ・データ収集のための同意書作成

【教育部】

1. 主催研修会 29 回
 - 北海道作業療法士会研修会 13 回
 - 領域別研修会 3 回
 - 現職者共通研修会 6 回
 - 重点課題研修 7 回
2. 全道研修会開催：担当地区 石狩支部 47 回学会同時開催

【調査部】

1. ホームページリニューアル
 - ・平成 28 年 6 月 1 日～リニューアルページにて運用開始。システム、コンテンツ等修正は随時実施
2. オンライン・対面決済の運用
 - ・オンラインクレジットカード決済システムの新規導入
 - ・対面決済に関しては機器操作や具体的運用方法について他部局と調整中
3. 部局会議の開催
 - ・上期、下期それぞれ 1 回開催。その他はすべてメールにて対応

【渉外部】

1. 行政、他団体関連事業等への協力・提言
2. 儀礼・新年交礼会出席
3. 日本作業療法士協会、都道府県作業療法士連絡協議会との連携
4. 他団体等への委員、講師派遣、後援協力
5. 平成 29 年新年交礼会の企画・運営
 - 平成 29 年 1 月 13 日（金）札幌グランドホテルにて開催
6. 公共事業関連の情報収集等
7. 北海道内の養成校において卒業生を対象とした日本作業療法士協会および北海道作業療法士会に関する説明会の実施

【福利部】

1. 新会員歓迎会の開催
2. 平成 28 年 4 月 23 日 北海道大学大学院保健科学研究院にて実施
 - （新人 101 名、先輩 32 名、計 133 名参加）
3. 団体保険管理・運営・各種必要保険の調査

- ・団体保険において年間対象者 1,300 名にて契約更新
- 4. 学会での託児運営の実施
 - ・第 47 回北海道作業療法学会にて託児コーナーの運営を実施（5名の会員が託児コーナーを利用）
- 5. 福利部からのホームページ作成・更新
 - ・福利部からの案内を更新
- 6. 福利部からの福利相談窓口設置・稼働
 - ・検討継続 相談件数 0 件
- 7. 女性会員の士会活動への参画支援の検討
 - ・第 48 回北海道作業療法学会にて育児支援のための情報発信ブースの設置を検討
- 8. 福利厚生に関するアンケートの実施
 - ・福利厚生事業充実に向けて会員への web アンケートを実施
- 9. 『北海道作業療法人材バンク（仮）』の設置を検討
 - ・外部委託による会員への「一般労働者派遣」と「職業紹介」の運営を検討

【広報部】

[広報部広報課]

1. 道士会ニュース（奇数月）年 6 回の編集発行、web データの提供
2. 道士会事業データの保存、資料提供等の協力（刊行物、写真、広報用）
3. Web 広報活用の検討、推進（会員向け情報提供充実のためのオンラインアンケート）
4. 支部広報部との連携（支部・道士会広報部全体会議、議事録での情報共有）
5. ガイドラインの更新（広報課マニュアル、ニュース編集要点等）
6. 養成校卒業生向け、道士会広報物作成（道士会紹介の刊行物）

[広報部企画課]

1. 作業療法分野別リーフレットの補完
2. 啓発活動用ノベルティの作成
3. イベント備品の刷新（OT 紹介パネルのターポリン化）
4. Uturu の作成および発送（1 回）
5. web 広報活用の検討、推進（メールマガジン、SNS の導入準備）

【事業部】

一般市民に向けた公益的活動、OT 志望者を増大するための啓発活動を継続し、MTDLP 研修会・事例報告会を開催した。

1. 公益的活動
 - ・道が主催する「次世代の担い手育成推進事業」における「福祉教育アドバイザー」派遣について、道内の幼稚園 1 件、小学校 8 件、中学校 3 件、高校 5 件の計 17 件の派遣依頼に対応した。
 - ・いきいき福祉・健康フェア 2016 の共同企画ブースに参加した。
 - ・北海道医療技術者団体連絡協議会主催のパネル展に参加した。

2. 啓発活動

- ・会員に対して新人会員ガイダンスを実施した
- ・小学生職業体験イベント「ミニさっぽろ」への参画(10/1, 2)

3. MTDLP 修了者増大に向けた取り組み

- ・MTDLP 基礎研修(11回)、事例検討会(43回)実施、システムを作成し来年度主催部門となる教育部へ継承した
- ・会員ニュースを用いて MTDLP 研修会参加推進を啓発した

4. 支部連携強化

- ・連携強化及び課題共有に向けて支部事業部長と士会事業部間会議の開催(6月21日)

【保険部】

1. 医療・介護保険に関する情報収集・整理

- ・各関係各所等から情報収集し、部員内で共有

2. 士会員への情報提供

- ・保険部メーリングリスト、士会ニュース・士会ホームページ上へ情報提供：適宜掲載

3. 士会員からの保険相談、その他

- ・支部員やホームページ、事務局によせられた相談への対応を実施(1件)

4. 診療報酬改定におけるアンケートの実施

- ・平成28年10月頃にアンケート送付、平成29年2月に研修会やHPで報告
- ・士会ニュース 平成29年3月号に調査報告の要約を掲載

5. 保険関連の研修会・座談会の開催

- ・平成29年2月5日に「振り返ろう！診療報酬改定」～いまさら聞けない診療報酬加算の取り方など～をテーマに、札幌医療リハビリ専門学校で実施

【地域部】

1. 道士会認定市町村アドバイザー養成講座：北海道リハビリテーション専門職協会事業と連携して実施(7/3札幌、8/28稚内、10/16小樽、10/23中標津、11/13新ひだか、11/27砂川、12/11八雲、以上7会場にて開催)、OTの基礎課程修了166名、認定課程修了56名、事例報告6件

2. 地域作業療法推進に関する事業企画および運営：地域ケア会議に資する作業療法士人材育成研修会の開催、受講者57名(10/30旭川17名、12/3札幌6名、1/21函館25名、1/28釧路9名)

3. 市町村事業および地域ケア会議への参画推進および動向調査：士会から以下の市町村への派遣実績があった。

市町村事業受託；白老町、中頓別町、下川町、札幌厚別区、北広島市、遠別町、知内町
地域ケア会議；鹿部町、共和町、函館市、仁木町、幌延町、恵庭市、北斗市、豊浦町

4. 地域作業療法推進に関する企画書および報告書の管理

5. 地域作業療法推進に関する事業推進および調査

*上記の一部は北海道リハビリテーション専門職協会事業と連携し実施した。

【常設委員会】

[総会議事運営委員会]

1. 平成 28 年度定期総会開催（6/4 札幌コンベンションセンター）
 - ・ 委任状回収率 58.1% (昨年度総会 60.3%)
2. 平成 29 年度定期総会開催準備及び運営

[学会評議委員会]

1. 平成 28 年度 第 47 回学会の支援
2. 平成 29 年度 第 48 回学会の支援
3. 平成 30 年度 第 49 回学会の学会長候補の選出
4. 「学会運営手引き（マニュアル）」の継続的な見直し
5. 演題審査委員の所属先の確認
6. 平成 28 年度 第 47 回札幌学会の参加者の動向調査（学会実行員会）
7. 北海道作業療法学会法人化についての検討

[選挙管理委員会]

1. 29 年度役員選挙の開催準備

[企画調整委員会]

1. 住宅改修ワーキンググループの運営
改修例を継続的に蓄積している。会員への情報提供できるシステムを検討中
2. 特別支援教育ワーキンググループの運営
ワーキンググループを主体に OT の参画を取り組んでいる
3. 福祉用具相談支援システムの検討
4. IT 機器活用方法についての検討
5. 理事会で決議された議案への対応

【特設委員会】

[規約検討委員会]

1. 現状の規約・規程の整理・集約

[白書委員会]

1. 北海道作業療法白書 2017 作成に係るスケジュールおよび予算の策定

[災害対策委員会]

1. 災害対策基金への積み立てを行った
2. 災害対策マニュアルについては未完成の状況
3. 災害リハビリテーション推進協議会への参加
 - ・ 会議 5 回、研修会 1 回開催

[認知症施策推進委員会]

1. 研修事業（重点課題研修）
 - ① 平成28年12月4日（日）「認知症を抱える方への地域支援 一砂川市の実践一」
 - ② 平成29年2月4日（土）「認知症を抱える方への家族支援」
2. 調査事業
北海道各市町村における認知症施策の実施及び作業療法士の関与状況の調査
3. 普及啓発事業
道士会ニュースへの掲載

[制度対策委員会]

保険部、福利部事業報告を参照

【支部連絡協議会】

1. 支部連絡協議会の開催（6、1月）
2. 各支部の年度活動計画・報告、年度予算計上・決算報告及び活動状況の集約と調整
3. 理事会と支部間の連絡調整
4. 各部局・委員会と支部間の連絡調整
5. 地域長・地区長・市町村担当者の把握、理事会との連絡調整
6. 地域作業療法推進事業
 - ・ 地域長連携会議の開催、OJT講習会の開催、市町村訪問挨拶事業の集約
7. 生活行為向上マネジメント講習会 4地域で協力開催

[札幌支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議、ブロック連絡会の開催
3. 広報誌の発行
4. 道士会主催支部企画講習会、現職者共通研修会の運営 16回
5. 健康祭り・医団協パネル展・OTの日啓発活動
6. 出張講座への講師派遣 12回
7. 外部関係機関への会員派遣
8. 地域作業療法推進事業
 - ・ 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[石狩支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議の開催
3. 広報誌の発行3回、支部懇親会の開催2回
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修の運営1回
5. 千歳健康祭り・北広島健康祭りへの参加、市民向け講座、地域包括支援センタースタッフとの意見交換会の開催
6. 石狩地域リハビリテーション推進会議への派遣

[空知支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議の開催
3. 広報誌「向日葵」の発行2回、役員用掲示板の管理、支部交流会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修の共同運営
5. 砂川市立病院まつりへの参加
6. MTDLP 実践者研修の企画運営 2回
7. 北・中・南地域リハビリテーション推進会議への参加・派遣

[後志支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行3回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営2回、現職者共通研修会の運営2回
5. 健康祭り、地域イベント活動への参加
6. 後志地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣

[日胆支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部総会、地区報告会1回開催、支部内会議の開催3回開催
3. 広報誌の年2回発行、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修会の運営協力
5. ひだか健康まつりへの参加、リレーフォーライフ事業の参加、子育て応援 EXPO への参加、健康フェスタとまこまいへの参加
6. 東・西胆振地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
→先方の都合にて後援金の徴収は見送り
7. 地域作業療法推進事業

- ・ 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[道南支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議、事業説明会
3. 広報誌の発行2回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修会の運営4回、O Tの日啓発事業の企画運営、N P O祭りの参加、MTDLP 基礎研修会の開催1回、MTDLP 熟練者研修会の開催3回、地域ケア会議に資する人材育成研修会の開催1回、市町村担当者会議/地域ケア会議アドバイザー養成 OJT 研修の運営補助（HARP 主催）1回
5. 各病院・施設における地域支援事業の把握、会員間における医療・介護・保健・福祉ネットワークづくり
6. 南渡島地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣、各団体後援協力
7. 地域作業療法推進事業
 - ・ 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、渡島総合振興局、檜山振興局への挨拶や意見交換、支部内での地区長会議、市町村の実態把握、地域ケア会議参加（鹿部町）、知内町介護予防事業への作業療法士派遣

[十勝支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議の開催
3. 広報誌の発行、新人歓迎会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営
5. 福祉フェスティバルへの参加、講師派遣事業の実施
6. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
7. MTDLP 基礎研修の企画運営

[根釧支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行、新人歓迎会・交流会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、MTDLP 研修会の運営協力
5. 市民向け自助具講習会の開催（釧路高専と共催）
6. くしろ健康まつり、厚岸町障がい者（児）ふれあいフェスティバル、他地域イベント活動への参加
7. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
8. 地域作業療法推進事業
 - ・ 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議参加、市町村予防事業への指導・協力、地域部研修会の運営協力

[道北支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行6回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営、現職者共通研修会の運営
5. 旭川市健康まっりの企画運営、O Tの日啓発活動の企画運営、他地域イベント活動への参加
6. OJT 研修会・MTDLP 講習会運営援助
7. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
8. 地域作業療法推進事業
 - ・ 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[網走支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部総会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行3回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、道北支部現職者共通研修会の手伝い
5. 啓発活動として地域経済情報誌への記事掲載
6. 支部事業部主催研修会の開催1回、健康まつりへの参加、高校への進学出前講座の開催（北見市内3校）
7. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣